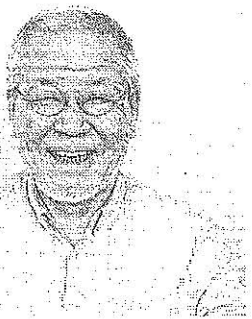


一般社団法人化から3年目を迎えるフローリング協会は5月17日の総会で、外瀬泰宏氏（ヒスムカンパニー）を新会長に選任した。新会長に就任するに当たったの抱負、今後の構想を聞いた。

前会長の小黒邦雄氏を務めている。こうし業界に身を投じ、およそ40年になる。当時はフローリング製造業者が主導で業界団体も必然的にメーカーが中枢となる関係にあっても、業界の旗振り役としての使命を引き受けるべく、活発な企業間交流を築いてきた。11年前身の東京フローリング問屋協会から一般社団法人として新たに出発した際に、私は副会長として新たに就任した。私は20歳で床施工の



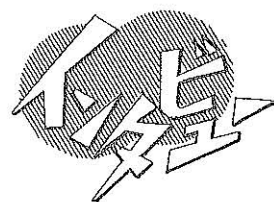
## フローリング協会新会長 外瀬 泰宏 氏

が主導で業界団体も必然的にメーカーが中枢を占めていたが、時代の流れとともに施工業者の発言力も増してき

こうした経緯のなかで11年に誕生したのがフローリング協会で、民・官問わず需要を取り込む活動を展開している。

### メンテナンスの重要性

会長に就任して最初



ンケートを配布し、その事故が記憶に新し。一例としてバスケットを回収しながら各所の掃と、それに伴う不具合の意見交換を図る。アンケートの質疑内容、各競技での承認も得ては「木質フローリング管理者側の意識によって用いる予定の有無」で未然に防げた事故も「非木質資材と木質フローリングの使用比」の需要を「床診断士」のような率」「メンテナンス状況」阻む要因とならないよう周知を徹底したい。

## 木質フローリング地位向上へ

### 中央官庁と自治体訪ねPR

木材は適切な管理を施せば割れや損傷を防ぐだけではない。断時期も季節による湿度の高低も考慮する必要があるなど、障害も多いたが、取り組みとして協会は団体として指名して選んでもらえるような仕組みづくりを経営、よりメリットを見いだせてもらえること

に取組むのが中央官庁と首都圏各自治体を訪問するPR活動だ。これは東京フローリング協会の時代から実施されていて、近年は日本フローリング工業会と共同で行われてきた。今回は事前に実際の損傷を要因とし、設の用途の多くを占める。一例としてバスケットボールの公式ルールでも公認されるなど、各競技での承認も得ておいて、将来的にはさらさら建販商社と、床にかかわるあらゆる業態が参加している。

「メンテナンス状況」阻む要因とならないよう周知を徹底したい。木材は適切な管理を施せば割れや損傷を防ぐだけではない。断時期も季節による湿度の高低も考慮する必要があるなど、障害も多いたが、取り組みとして協会は団体として指名して選んでもらえるような仕組みづくりを経営、よりメリットを見いだせてもらえること

活動通じ会員増へ

当協会は、施工、単